



スタートガイド free API 連携編

こちらの資料では invox と free を API で連携する流れについてご説明します。

基本的な操作方法については「基本編」をご覧ください。

また、仕訳編集や仕訳辞書については「取引・仕訳データ生成編」をご覧ください。

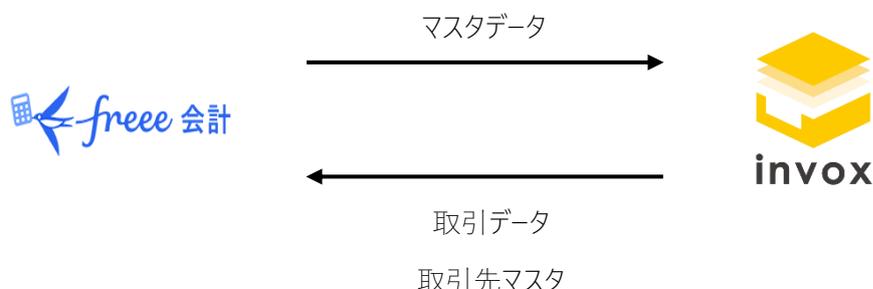
※本マニュアルに記載の内容はベーシックプラン以上でご利用可能です

目次

1. 概要.....	3
● free 会計から invox へ連携できるマスタ	3
● invox から free 会計に送信する取引データの内容	3
● invox から free 会計に送信する取引先マスタの内容	4
2. 初期設定	6
● 出力設定	6
● free 会計との連携設定	6
3. マスタデータの連携	8
4. 取引データの連携	10
● invox からの取引データの送信	10
● 出力履歴の削除	10

1. 概要

free 会計 API 連携をご利用いただくことで、free 会計から invox へのマスタ情報の取込と、invox から free 会計への取引データの送信を API で行うことができます。



● free 会計から invox へ連携できるマスタ

次のマスタを free 会計から invox に連携することができます。

取引先（口座情報）

勘定科目

部門

品目

メモタグ

● invox から free 会計に送信する取引データの内容

invox から free 会計に送信する取引データの内容は次の通りです。

勘定科目、税区分、部門、メモタグには、free 会計に登録されている値を指定してください。登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。

free 会計の取引先マスタに登録されていない仕入先が指定された場合、取引データの送信時に invox の仕入先マスタが連携されて free に取引先が追加されます。

なお、次の税区分は free 会計にて利用非推奨となっており廃止予定であるため、API 連携で使用することができません。他の税区分をご利用ください。

課税 / 非課税 / 不課税 / 輸出等 / 未選択 / 課税 8%

項目	設定値
[ハッパ]発生日	仕訳の計上日

[ヘッダ]取引先	請求書の仕入先
[ヘッダ]期日	請求書の支払予定日
[ヘッダ]管理番号	請求書の請求 ID
[明細]勘定科目	仕訳明細の勘定科目
[明細]税区分	仕訳明細の税区分
[明細]金額	仕訳明細の金額
[明細]品目	仕訳明細の品目
[明細]部門	仕訳明細の部門
[明細]メモタグ	仕訳明細のメモ 1～メモ 5
[明細]セグメント 1～3 ※free のプロフェッショナルプラン、エンタープライズプランでのみ使用可能	仕訳明細のセグメント 1～セグメント 3 ※セグメント項目を使用するためには、出力設定の「セグメントを使用する」で「セグメント 1のみ使用する」または「セグメント 1～3 を使用する」のどちらかを ON にする必要あり
[明細]備考	仕訳明細の摘要

● **invoX から free 会計に送信する取引先マスタの内容**

free 会計の取引先マスタに登録されていない仕入先が請求書に指定されている場合、取引データの送信時に invoX の仕入先マスタが連携されて free に取引先が追加されます。

invoX から free 会計に送信する取引先マスタの内容は次の通りです。

項目	設定値
取引先コード	請求書の仕入先のコード
取引先名	請求書の仕入先の名称
正式名称	請求書の仕入先の名称

事業所種別	請求書の仕入先の法人／個人
-------	---------------

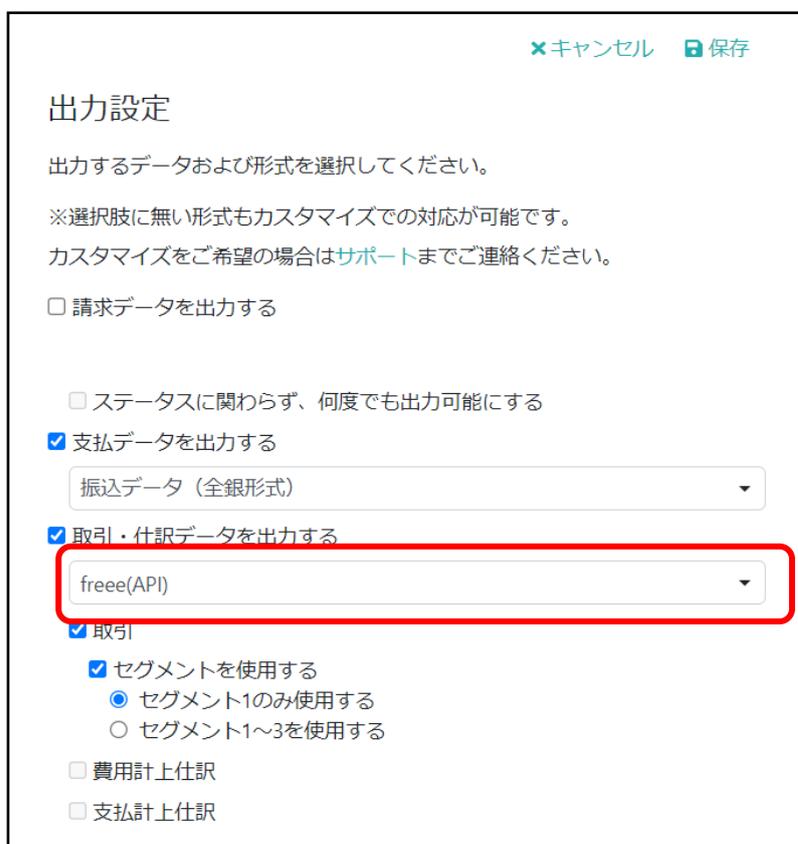
2. 初期設定

● 出力設定

[設定]-[サービス]-[出力設定]を開き、「取引・仕訳データを出力する」で「free（API）」を選択し、「保存」をクリックします。

free の契約がプロフェッショナルプランの場合はセグメント 1、エンタープライズプランの場合はセグメント 1～3 を使用できます。

invoX からの取引データ連携でセグメント項目を連携する場合、「セグメントを使用する」を選択し、free の契約プランに応じて「セグメント 1 のみ使用する」または「セグメント 1～3 を使用する」を ON にします。



×キャンセル 保存

出力設定

出力するデータおよび形式を選択してください。

※選択肢に無い形式もカスタマイズでの対応が可能です。
カスタマイズをご希望の場合はサポートまでご連絡ください。

請求データを出力する

ステータスに関わらず、何度でも出力可能にする

支払データを出力する

振込データ (全銀形式)

取引・仕訳データを出力する

free(API)

取引

セグメントを使用する

セグメント1のみ使用する

セグメント1～3を使用する

費用計上仕訳

支払計上仕訳

● free 会計との連携設定

[設定]-[サービス]-[free API 設定]を開き、「接続」をクリックします。



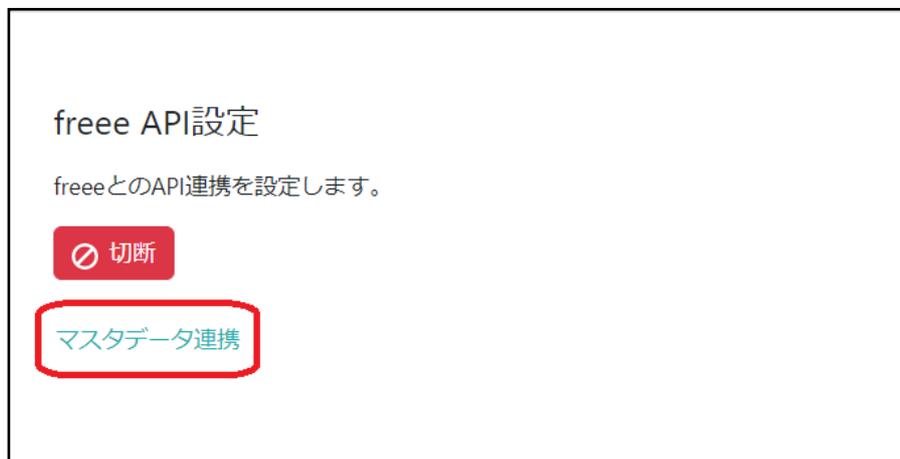
free へのログイン画面が表示されるので、free のアカウントでログインします。

「アプリ連携の開始」画面で **invoX** が要求するアクセス権とアクセスできる事業所を確認し、「許可する」をクリックします。

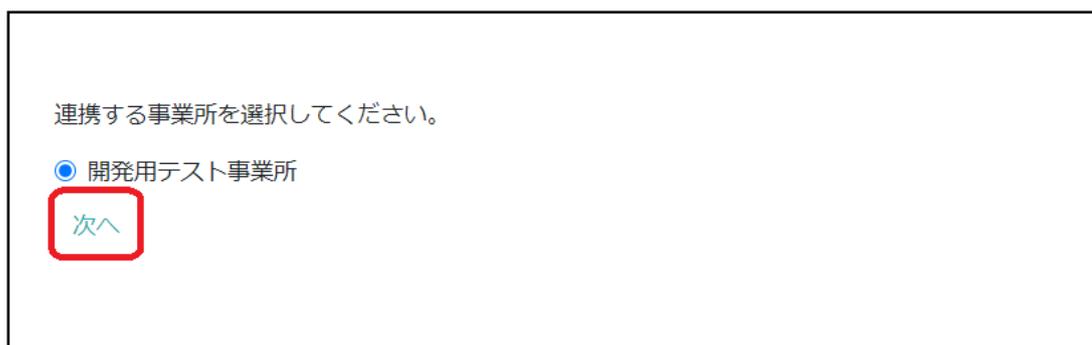


3. マスタデータの連携

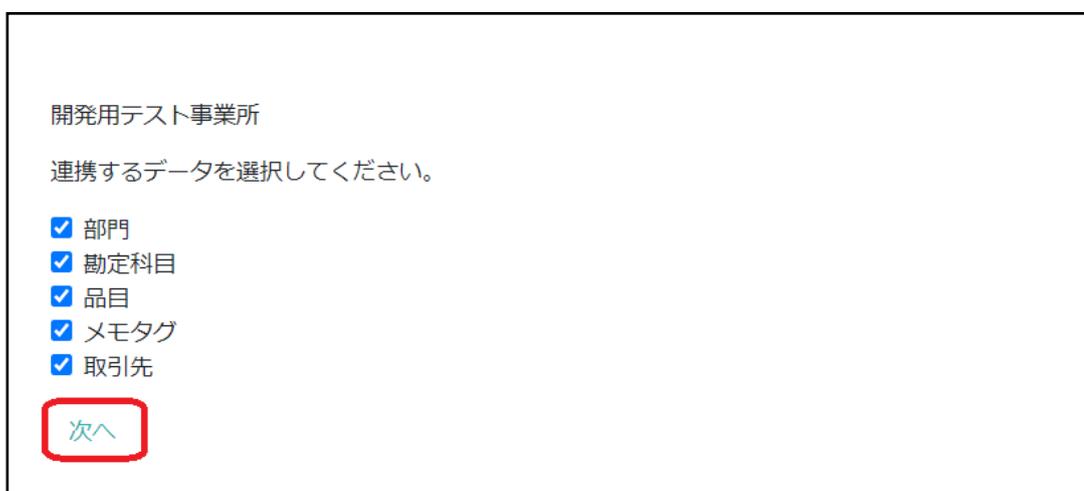
[設定]-[サービス]-[free API 設定]を開き、「マスタデータ連携」をクリックします。



連携対象の事業所を選択し、「次へ」をクリックします。

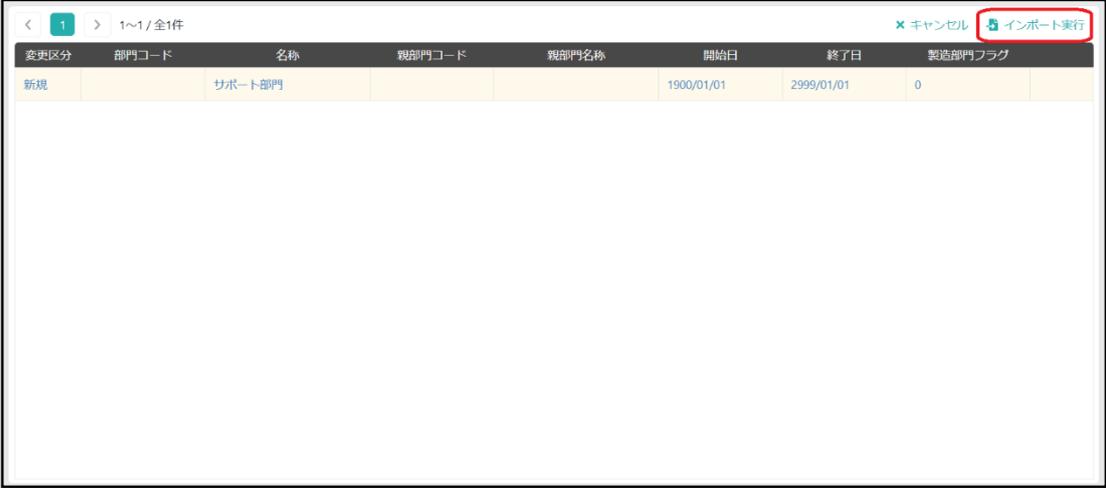


連携対象のマスタを選択し、「次へ」をクリックします。



マスタごとに確認画面が表示されるので、連携内容を確認して「インポート実行」をクリックします。

1つのマスタのインポートが完了すると、次のマスタの確認画面が表示されます。



The screenshot shows a web application interface with a table. The table has the following columns: 変更区分, 部門コード, 名称, 親部門コード, 親部門名称, 開始日, 終了日, and 製造部門フラグ. The first row of data is: 新規, サポート部門, サポート部門, (blank), (blank), 1900/01/01, 2999/01/01, 0. In the top right corner, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'インポート実行' (Import Execution). The 'インポート実行' button is highlighted with a red rectangular box.

変更区分	部門コード	名称	親部門コード	親部門名称	開始日	終了日	製造部門フラグ
新規		サポート部門			1900/01/01	2999/01/01	0

4. 取引データの連携

● invox からの取引データの送信

[出力]-[請求仕訳 (free API)] から「freeへ送信」をクリックして取引データを送信します。

請求仕訳 (free API) freeへ送信

請求ID 仕入先名 部門名 プロジェクト名 支払方法

日付

金額

< 1 > 1~1 / 全1件 出力対象 件数 1件 金額 ¥94,600 更新

請求ID	仕入先	部門	プロジェクト	請求日	支払予定日	金額	支払方法
IR4441770541	株式会社セントロ	開発部		2020/5/26	2020/5/29	¥94,600	銀行振込

● 出力履歴の削除

[出力]-[履歴]を開き、「出力データ種別」に「請求仕訳 (free API)」を指定します。

検索された出力履歴をクリックすると開く画面で、「削除」を実行すると出力履歴が削除され、再送信が可能になります。

一度送信が完了した請求書の内容を変更して再度送信する場合に、この操作を行います。

請求仕訳 (free API) 削除済みを表示

日付

請求ID 仕入先名 部門名 プロジェクト名 支払方法

< 1 > 1~1 / 全1件 合計金額 ¥100,000 更新

データ	出力日	件数	履歴削除日	金額
請求仕訳 (free API)	2021/2/8 19:27	1		¥100,000



最後までご覧いただきありがとうございます。

ご質問やご要望等ありましたら

チャットもしくは support@invox.jp までメールにてご連絡ください。